

第39回九都県市合同防災訓練（千葉県会場）＜訓練概要＞

訓練目的	<p>本訓練は、震災時における県や市、各防災機関の連携強化を図るため実践的な訓練を実施するとともに、自主防災組織を中心とした避難所の運営や防災啓発等を通じて減災への備えや発災時の対応などを学習し、自助の徹底や共助の充実、公助の連携強化による地域防災力の向上を図ることを目的とする。</p>
日時	<p>平成30年8月26日（日）10：00～13：00</p>
会場	<p>勝浦市立勝浦中学校（勝浦市出水1120-1）ほか</p>
規模	<p>参加機関（団体） 約110機関、 参加人員 約5,000名</p>
想定地震	<p>相模トラフ沿いを震源とするM8クラスの大地震が発生し、勝浦市では最大震度6強を観測、強い揺れによる家屋倒壊や斜面崩壊などによる被害が多数発生、電力・水道等のライフライン機能も麻痺している。</p> <p>また、沿岸部では最大5mの津波襲来が予測されるため、迅速な避難が求められている。</p>
訓練項目	<ol style="list-style-type: none"> 1 実動訓練 <ol style="list-style-type: none"> (1) シェイクアウト訓練による地震発生時の個人保護 (2) ヘリテレやオートバイ隊による被害情報収集などの初動活動 (3) 放置車両の移動、がけ崩れ除去などの道路啓開 (4) 被災した建物や車両、孤立地域などからの被災者の救出救助 (5) 応急救護所の設置、傷病者のトリアージ、救急救命などの医療活動 (6) 沿岸地域における津波避難行動や物資の供給、海上捜索や救出救助 2 避難所運営訓練 <ol style="list-style-type: none"> (1) 自主防災組織が中心となった避難所の運営 (2) 支援物資の受入・配布 3 ボランティアセンター運営訓練 <ol style="list-style-type: none"> (1) 被災地ボランティアセンターの運営と支援 4 多数遺体取扱訓練 ※浦安市にて別会場で実施 <ol style="list-style-type: none"> (1) 遺体安置所の設営や検視(死)・検案、身元確認及び遺族対応 5 防災フェア <ol style="list-style-type: none"> (1) 防災に関する展示や体験学習などの啓発 (2) ライフラインの応急復旧・応急危険度判定の実演
訓練の特徴	<p>県南地域の特性や過去の大災害の課題に重点をおき、防災関係機関の連携強化や住民等の防災意識の高揚に繋がるような訓練・啓発等を実施することで、県の防災力向上に資する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 県南地域の特性 <ol style="list-style-type: none"> (1) 地形的な特性：崖地が多く僅かな平地に人家集中、海岸に面する漁村に民家が集中、幹線道路が少ないなどから震災時の被害拡大の懸念 (2) 社会的な特性：過疎化や高齢化の進行などから自助・共助への懸念 2 過去の大災害の課題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 自主防災組織に避難所運営を引き継げず行政の災害対応業務の圧迫 (2) 物資集積拠点の被災などによる支援物資配布機能の混乱 (3) ひとりひとりの災害時における行動（平時の備え）の認識不足